

第8回ITER理事会結果概要



平成23年6月21日

文部科学省



文部科学省

MEXT

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

第8回ITER理事会の主な出席者

日程: 2011年 6月14日(火)ー15日(水)

場所: 青森県青森市(ホテル青森)

議長: エフゲニー・パヴロビッチ・ベリホフ ロシアクルチャトフ研究所総裁

出席者:

日 本: 森口 文部科学審議官 他

欧 州: スミッツ 欧州委員会研究・イノベーション総局長 他

米 国: ブリンクマン エネルギー省科学局長 他

ロシア: ボロフコフ ロシア連邦政府国防産業委員会機関長 他

中 国: ツアオ 科学技術部副部長 他

韓 国: チョ 教育科学技術部次官補 他

インド: グローバー 原子力庁最高顧問 他

ITER機構: 本島 機構長 他

第8回ITER理事会の主な議題

- (1)開会挨拶(議長、青森県知事、各極代表、機構長)
- (2)ITER機構活動報告
- (3)諮問委員会等からの報告
- (4)ITER計画のスケジュールについて
- (5)コスト削減と抑制
- (6)ITER機構の財務案件
- (7)運営評価
- (8)その他



第8回ITER理事会の結果概要(1)

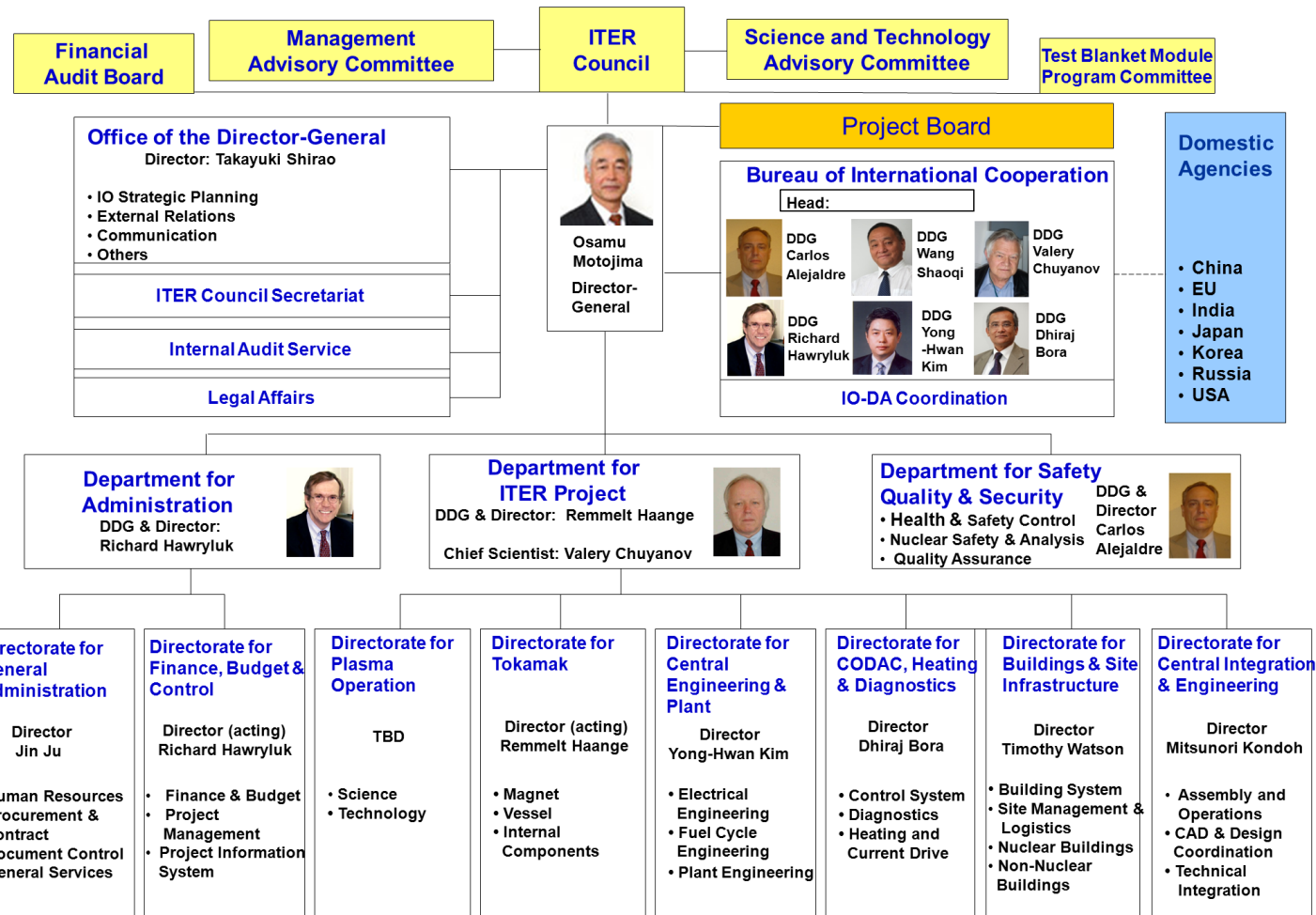
ITER機構からの活動報告①

○ITER機構の体制

・2名の次長が着任し、
4名の部長職の選考も
終了。

・2011年5月末時点で
計475名
＜うち専門職員305名、支
援職員170名＞
(日本人専門職員数は26
名、支援職員は7名)

・2011年末には全職員
数が494名になる見込
み。



第8回ITER理事会の結果概要(2)

ITER機構からの活動報告②

○調達取決め(Procurement Arrangement:PA)の締結状況

- ・これまでに合計55のPAが締結され、ITER建設に係る全体の68%に相当する。
- ・2011年末までに、さらに約20のPAを締結する見込み。

○サイトの建設状況

- ・トカマク掘削エリアのコンクリート作業が数週間後に開始される予定。
- ・ITER機構本部の基礎部分の作業が終了。来年晩夏には建物が出来る見込み。



ITER本部建屋



トカマク掘削エリア



ポロイダルコイル組立建屋

○予算及び財務(2011年執行状況、2012年予算案等)



第8回ITER理事会の結果概要(3)

ITER計画のスケジュール

日本の震災の影響等、スケジュールに関する議論が行われ、以下を合意した。

○日本の震災による重要機器の製作への影響の緩和を含め、承認された予算の範囲内でITER計画のスケジュールを維持する。

※東日本大震災により、日本原子力研究開発機構那珂核融合研究所が被災。超伝導コイルの試験建屋等が大きく損傷している(右図参照)。



○特別検討委員会(Special Task Group)を設置し、スケジュール回復に向けた戦略的計画を2011年10月初頭までに作成する。

○これに関連して、理事会は核融合エネルギーの重要性及び必要性を再認識し、核融合エネルギーの実現のための不可欠なステップであるITER計画の遂行において、7極間で強固な協力を継続することを促した。

第8回ITER理事会の結果概要(4)

コスト削減・抑制

- 2011年3月に、ITER機構と国内機関を構成員とする「コスト削減・抑制ワーキンググループ」を設置。
- 削減の可能性がある項目(総額にして約100～300億円)を抽出し、実施できるものから順次実施していく予定。

運営評価

- ITER協定に基づき、2年に一度、ITER機構の運営の評価を実施することとなっており、今年は、第2回の評価を実施する予定。
- 理事会は、インド会計監査局によって組織されるスリラム氏を中心とするチームを歓迎するとともに、理事会議長との間で契約書を交わした。



第8回ITER理事会の結果概要(5)

今後のスケジュールについて

○平成23年11月17日、18日に第9回理事会をフランス・カダラッシュで開催することに合意。



＜第8回ITER理事会の様子＞